



【学校教育目標】

生気に満ちた姿勢で
物事にあたり
互いに励まし高め合う生徒

令和7年11月28日(金)

発行者:校長 和田秀治

子どもたちが AI 時代に活躍するための「社会人基礎力」 の基礎を育む

上美生中学校 校長 和田秀治

～時代や社会環境の変化に対応する力の育成（経済産業省より）～

AI の急成長により SNS や仕事の世界において生成 AI 等を活用した動画や画像、音声などの新しいコンテンツが作成され、社会や会社、家庭などを取り巻く環境が激変しています。また、グローバル化の進展により、事業環境の変化や人材の獲得競争が加速・拡大しつつあり、人材に求められる能力要件も大幅に変化していくことが予想されます。その結果、現代社会では、産業構造の変化やテクノロジーの進化などによって、必要とされる能力が幅広く多方面に渡り、そのため、経済産業省からは、社会人基礎力 【前に踏み出す力】 【考え方】 【チームで働く力】 が提唱されています。

～主体的に行動、創造的に課題解決、チームで協働～

従来は、特定の職業に特化したスキルがあればキャリアを築きやすいと考えられていましたが、今では長期的に学び続け、柔軟にキャリアを組み替える発想が求められています。その結果、主体的に行動し、創造的に課題を解決し、チームで協働できる能力があらゆる業種で重視され始めました。

特に、高校時代からこれらの力を総合的に磨くことで、生徒は進学後や社会に出た際に、環境の変化にスムーズに対応することが期待されます。知識中心だけではなく、実践的な場で試行錯誤を重ねる機会を作ることが、この急激な社会変化に対処するために必要です。

～主体的・対話的で深い学びの一層の推進～

小・中学校では、学習指導要領の改訂によって、「主体的・対話的で深い学び」による探究型の学習等が重視されるようになり、生徒が自ら進んで課題を設定、探究、その結果を共有する学びを推進しています。芽室町では、授業でのアウトプットの割合を7以上にする「3：7の学び」を通じて、「生きて働く知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力」を育んでいきます。

経済産業省が主催した有識者会議により、職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力を「社会人基礎力（= 3つの能力・12の能力要素）」として定義。

前に踏み出す力（アクション）

～一步前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力～



- 主体性
- 物事に進んで取り組む力
- 働きかけ力
- 他人に働きかけ巻き込む力
- 実行力
- 目的を設定し確実に行動する力

考え方（シンキング）

～疑問を持ち、考え方～



- 課題発見力
- 現状を分析し目的や課題を明らかにする力
- 計画力
- 課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力
- 創造力
- 新しい価値を生み出す力

チームで働く力（チームワーク）

～多様な人々とともに、目標に向けて協力する力～



- 発信力
- 自分の意見をわかりやすく伝える力
- 傾聴力
- 相手の意見を丁寧に聞く力
- 柔軟性
- 意見の違いや立場の違いを理解する力
- 情報把握力
- 自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力
- 規律性
- 社会のルールや人との約束を守る力
- ストレスコントロール力
- ストレスの発生源に対応する力

～「学び続けること」を学ぶ～

のことから、必要となる人材も大幅に変化しています。技術の飛躍的・非連続的な進歩により、「知識やスキルの賞味期限は短期化」しており、かけがえのない人材として活躍し続けるには、あらゆる環境下においても時代に応じて自らのスキルや能力を随時アップデートしていくことができる人材が求められるようになってきました。

中学校においても、「主体的・対話的で深い学び」に基づいて、生徒が「もっと〇〇してみたい」「学び方を学べた」「友達と協働できた」「話し合いでヒントを得た」など「個別最適な学びと協働的な学び」を通じて社会人基礎力の基礎を育み、AI時代に社会で活躍し続ける力の育成に努めます。

※経済産業省「人生100年時代の社会人基礎力」と「リカレント教育」について 参考・参照

12月行事予定



日	行事予定	日	行事予定
1(月)	先手あいさつ運動	17(水)	
2(火)	3年生後期期末テスト①	18(木)	職員会議（年度反省①）
3(水)	3年生後期期末テスト②	19(金)	1,2年標準学力検査
4(木)	後期生徒会活動日	20(土)	
5(金)	3年生学力テスト	21(日)	
6(土)	算数・数学検定	22(月)	
7(日)		23(火)	職員会議（年度反省②）
8(月)	やまなみ交流日	24(水)	2学期終業式
9(火)	定例職員会議	25(木)	冬季休業開始～1/13(火)
10(水)	学年・分掌部会	26(金)	
11(木)		27(土)	
12(金)	第3回授業参観日	28(日)	
13(土)		29(月)	年末休業 閉校日
14(日)		30(火)	年末休業 閉校日
15(月)		31(水)	大晦日 年末休業 閉校日
16(火)			

★活躍する上美生中学生★

(敬称略)

《ニッタク杯全十勝卓球大会》11/3
2回戦 北密 3-0 及川（翔陽中）
3回戦 北密 3-0 永原（池田中）
4回戦 北密 3-0 大福（帯一中）
5回戦 北密 3-0 田中（音更中）
準々決勝 北密 3-0 住田（大空学園）

準決勝 北密 0-3 小林（音更中）

【男子シングルス 北密穂高 第3位】

《十勝子ども大会》

<絵画の部>

入賞 渡辺 紗 「上靴のデッサン」

《全十勝中学生室内ソフトテニス大会》11/23

1回戦 萩・張田 1—4 横山・松本(幕別中)

《北海道新人バドミントン競技選手権大会

十勝地区予選会 11/24

<男子ダブルス>

1回戦 大和田・廣江 1—2 川西・佐々木(帯二中)

佐藤・宮西 2—1 佐々木・的場(浦幌中)

2回戦 佐藤・宮西 0—2 平川・小林(南町中)

<女子シングルス>

1回戦 森 0—2 山本(翔陽中)

水口 0—2 道端(翔陽中)

五嶋 0—2 小高(帯一中)



北海道ふるさと教育「北方領土」

今年度、北海道ふるさと教育の一環として、上美生中学校では「北方領土」をテーマに、北海道の自然や文化等の教育資源を活用して、北海道についての理解を深め、郷土に対する愛着や誇りを育むふるさと教育を行っています。

18日(火)、千島歯舞諸島居住者連盟十勝支部青年部長 佐藤 一郎 氏(北方領土の元島民「語り部」(国後島泊村二世の方)をお迎えし、講演会を実施しました。小学校や中学校で学習した北方領土について、当時のお話や昔から伝わる島々のよさと歴史を教えていただきました。講演後は、生徒の様々な質問に答えていただきました。これから探究的な学習に生かしていくことになっています。

今回の授業を通じて、実際にお話を聞くことで、領土問題を身近なこととして捉え、北方領土に対するこれからの願いを具体的に考えるなど、ふるさとや領土問題に関心をもつ機会となりました。



エトピリカは、現在、根室市ユルリ島とモユルリ島のみで繁殖しています。(環境省)

上美生地域交流会

～世代を超えて～

11月25日(火)、上美生で生活する様々な世代の方たちと交流し、お互いの経験を共有しながら、生徒のひとりひとりが上美生地域を形成する一員であることを自覚し、視野を広げることをねらいに生徒会主催のトーキング・カフェを開催しました。

内容は、生徒会執行部が提示するテーマについてグループごとに会話し、4分ごとに生徒がグループを移動し、できるだけ多くのゲスト(来校者)とお話ししました。生徒の皆さんには、来校していただいた方々のお話に耳を傾けながら、上美生についてたくさんの学びを得ました。

最後には、来校していただいた皆様に感謝の気持ちを込めて生徒全員による合唱を披露しました。ご来校いただいた皆様、ありがとうございました。



前期学校評価を終えて

学校評価は、子どもたちにとってよりよい教育となるよう、自校の教育活動について検証し、学校運営の改善と向上を目指すことを目的としています。本校では、9月に生徒・保護者・教職員の皆様にご協力をいただき実施いたしました。本データをもとにアンケートから抽出した学校改善のポイントを明確にし、家庭・地域・学校が密に共有・連携しながら、学校改善に向けた取組をより充実させていきたいと考えております。今後、PTA懇談会・学校運営協議会等において公表させていただき、学校改善に向けた取組を進めてまいります。ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。なお、前期学校評価につきましては、折込の文書をご覧ください。よろしくお願いします。